



## 平成27年2月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成26年10月14日

上場会社名 株式会社 ゼットン 上場取引所 名  
 コード番号 3057 URL http://www.zetton.co.jp/  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 稲本健一  
 問合せ先責任者 (役職名) 財務経理部長 (氏名) 森充 TEL 03-6416-3120  
 四半期報告書提出予定日 平成26年10月14日  
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無  
 四半期決算説明会開催の有無：有（機関投資家・アナリスト向け）

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成27年2月期第2四半期の連結業績（平成26年3月1日～平成26年8月31日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年2月期第2四半期	5,622	20.3	401	11.4	425	15.1	256	27.8
26年2月期第2四半期	4,675	12.7	360	52.1	369	56.3	200	60.1

(注) 包括利益 27年2月期第2四半期 244百万円 (14.6%) 26年2月期第2四半期 213百万円 (74.0%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年2月期第2四半期	59.61	-
26年2月期第2四半期	47.03	46.66

(注) 平成26年3月1日を効力発生日として、普通株式1株につき100株の株式分割を行っております。これに伴い、前第1四半期連結累計期間の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、1株当たり四半期純利益及び潜在株式調整後1株当たり四半期純利益を算定しております。

### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
27年2月期第2四半期	4,420	1,268	28.7	294.55
26年2月期	2,874	1,054	36.7	244.73

(参考) 自己資本 27年2月期第2四半期 1,268百万円 26年2月期 1,054百万円

(注) 平成26年3月1日を効力発生日として、普通株式1株につき100株の株式分割を行っております。これに伴い、前第1四半期連結累計期間の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、1株当たり純資産を算定しております。

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年2月期	-	0.00	-	700.00	700.00
27年2月期	-	0.00	-	-	-
27年2月期（予想）	-	-	-	7.00	7.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

(注) 平成26年3月1日を効力発生日として、普通株式1株につき100株の株式分割を行っております。

### 3. 平成27年2月期の連結業績予想（平成26年3月1日～平成27年2月28日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	9,400	11.4	312	0.3	342	0.1	170	18.9	39.46

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無  
新規 一社（社名）、除外 一社（社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	27年2月期2Q	4,307,900株	26年2月期	4,307,900株
② 期末自己株式数	27年2月期2Q	-株	26年2月期	-株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	27年2月期2Q	4,307,900株	26年2月期2Q	4,271,900株

（注）平成26年3月1日を効力発生日として、普通株式1株につき100株の株式分割を行っております。これに伴い、前第1四半期連結累計期間の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、1株当たり発行済株式数（普通株式）を算定しております。

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続を実施中です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、添付資料2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 継続企業の前提に関する重要事象等	3
4. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間(平成26年3月1日～平成26年8月31日)の連結業績は、売上高5,622百万円(前年同期比20.3%増)、営業利益401百万円(同11.4%増)、経常利益425百万円(同15.1%増)、四半期純利益256百万円(同27.8%増)と増収増益を達成いたしました。

当期間において当社グループは、ビアガーデン事業、ハワイアン事業の拡大を目的に、首都圏の百貨店、商業施設を中心に、過去最多となる16店舗の新規出店を行いました。

売上高については、既存店売上高は天候不順による影響等から前年対比98.5%となったものの、出店数の増加を主因に大幅な増収となりました。

営業利益については、出店数の増加に伴い出店費用は増加したものの、前期に出店した3店舗及びリニューアルした4店舗が巡航稼働し、また、当期に出店した店舗も順調に稼働したことに加え、当期間に出店予定であった3店舗の営業開始が第3四半期に遅れたこともあり、増益となりました。

なお、当期間には契約期間満了等に伴い4店舗の閉店も行い、当第2四半期連結累計期間末現在の店舗数は、直営店71店舗(国内69店舗(ビアガーデン20店舗含む)、海外2店舗)、FC店4店舗の合計75店舗となっております。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

#### ①公共施設開発事業

契約期間満了により、レストランウェディング施設が1店舗閉店いたしました。前期にリニューアルを行った店舗「GARLANDS」を中心に、ブライダル事業が好調に推移いたしました。

この結果、当事業における売上高は1,910百万円(前年同期比3.0%減)、営業利益は292百万円(同42.7%増)となり、売上高につきましては前年同期を下回るものの、営業利益は前年同期を大幅に上回る結果となりました。

#### ②商業店舗開発事業

平成26年3月に大阪市阿倍野にある超高層ビル「あべのハルカス」の展望台に「SKY GARDEN 300」を、4月に大阪市京橋にてアロハテーブル事業として大阪初となる「ALOHA TABLE Kyobashi」並びに「HI-MEX BAR」を出店いたしました。また、5月以降には、商業施設「パルコ」、百貨店の「高島屋」、「伊勢丹」、「そごう」、「小田急百貨店」など合わせて7施設の屋上に12店舗のビアガーデンを新規出店いたしました。

この結果、当事業における売上高は3,712百万円(前年同期比37.1%増)、営業利益は440百万円(同0.8%増)となり、売上高、営業利益共に前年同期を上回る結果となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

#### ①資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ1,545百万円増加の4,420百万円となりました。これは主に、有形固定資産が合計666百万円、売掛金が442百万円、現金及び預金が424百万円とそれぞれ増加したこと等によるものであります。

負債合計は、前連結会計年度末に比べ1,330百万円増加の3,151百万円となりました。これは主に、長期借入金が506百万円、買掛金が220百万円、リース債務が143百万円、未払費用が137百万円、未払金が84百万円とそれぞれ増加したこと等によるものであります。

純資産合計は、前連結会計年度末に比べ214百万円増加の1,268百万円となりました。これは主に、利益剰余金が226百万円増加したこと等によるものであります。

#### ②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、前連結会計年度末に比べ424百万円増加し、1,044百万円となりました。当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況と、それらの要因は次の通りであります。

##### (営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は、505百万円(前年同期は603百万円の収入)となりました。これは主に、売上債権の増加、法人税等の支払額等の資金減少要因が税金等調整前四半期純利益、仕入債務の増加、減価償却費等の資金増加要因を上回ったことによるものであります。

##### (投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は、598百万円(前年同期は188百万円の使用)となりました。これは主に、有形固定資産の取得による支出等によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果得られた資金は、524百万円(前年同期は182百万円の使用)となりました。これは主に、長期借入の収入によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成27年2月期通期の連結業績予想につきましては、平成26年4月14日に発表いたしました予想から変更はありません。

※業績予想につきましては、発表日現在において入手可能な情報に基づき判断したものであり、潜在的なリスクや不確定要素が含まれております。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年2月28日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年8月31日)
<b>資産の部</b>		
<b>流動資産</b>		
現金及び預金	619,569	1,044,103
売掛金	105,934	547,993
商品	2,786	2,744
原材料及び貯蔵品	87,044	100,224
前払費用	72,518	73,580
繰延税金資産	37,269	32,126
その他	71,309	82,889
貸倒引当金	△43	△181
流動資産合計	996,388	1,883,480
<b>固定資産</b>		
<b>有形固定資産</b>		
建物及び構築物(純額)	1,195,082	1,482,557
工具、器具及び備品(純額)	105,985	224,535
リース資産(純額)	65,611	224,560
建設仮勘定	2,497	103,353
その他(純額)	198	1,321
有形固定資産合計	1,369,375	2,036,328
無形固定資産	31,886	29,029
<b>投資その他の資産</b>		
投資有価証券	0	0
出資金	1,000	1,000
長期前払費用	20,740	21,154
差入保証金	354,747	368,627
繰延税金資産	100,180	80,523
その他	563	330
投資その他の資産合計	477,232	471,636
固定資産合計	1,878,494	2,536,994
資産合計	2,874,883	4,420,475

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年2月28日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年8月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	301,457	522,007
短期借入金	20,000	50,000
1年内返済予定の長期借入金	360,458	411,402
リース債務	34,427	65,806
未払金	154,743	239,385
未払費用	209,170	346,620
未払法人税等	103,246	151,497
未払消費税等	43,897	65,677
前受金	82,112	107,321
その他	15,693	35,182
流動負債合計	1,325,206	1,994,901
固定負債		
長期借入金	385,477	892,433
リース債務	38,934	182,329
資産除去債務	67,886	77,448
その他	3,125	4,475
固定負債合計	495,423	1,156,685
負債合計	1,820,629	3,151,587
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	379,605	379,605
資本剰余金	301,808	301,808
利益剰余金	348,017	574,656
株主資本合計	1,029,431	1,256,070
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	24,821	12,817
その他の包括利益累計額合計	24,821	12,817
純資産合計	1,054,253	1,268,887
負債純資産合計	2,874,883	4,420,475

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
(四半期連結損益計算書)  
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年3月1日 至平成25年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年3月1日 至平成26年8月31日)
売上高	4,675,624	5,622,842
売上原価	1,401,395	1,706,989
売上総利益	3,274,228	3,915,852
販売費及び一般管理費	2,913,982	3,514,524
営業利益	360,246	401,328
営業外収益		
受取利息	229	287
協賛金収入	18,794	34,560
貸倒引当金戻入額	618	-
為替差益	374	4,725
その他	1,748	602
営業外収益合計	21,765	40,175
営業外費用		
支払利息	10,738	9,725
たな卸資産廃棄損	-	4,864
その他	1,329	1,280
営業外費用合計	12,067	15,869
経常利益	369,944	425,633
特別利益		
固定資産売却益	-	92
特別利益合計	-	92
特別損失		
投資有価証券売却損	372	-
固定資産除却損	8	1,145
減損損失	13,081	7,861
特別損失合計	13,461	9,006
税金等調整前四半期純利益	356,482	416,719
法人税、住民税及び事業税	168,538	135,125
法人税等調整額	△12,965	24,799
法人税等合計	155,573	159,925
少数株主損益調整前四半期純利益	200,909	256,793
四半期純利益	200,909	256,793



(四半期連結包括利益計算書)  
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成25年3月1日 至 平成25年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成26年3月1日 至 平成26年8月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	200,909	256,793
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	12,697	△12,004
その他の包括利益合計	12,697	△12,004
四半期包括利益	213,607	244,789
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	213,607	244,789
少数株主に係る四半期包括利益	-	-

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年3月1日 至平成25年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年3月1日 至平成26年8月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	356,482	416,719
減価償却費	125,921	145,437
減損損失	13,081	7,861
のれん償却額	1,675	2,403
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△618	138
受取利息及び受取配当金	△229	△287
支払利息	10,738	9,725
為替差損益 (△は益)	△374	△4,725
投資有価証券売却損益 (△は益)	372	-
固定資産除却損	8	1,145
固定資産売却損益 (△は益)	-	△92
売上債権の増減額 (△は増加)	△188,851	△442,059
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△17,283	△13,137
その他の流動資産の増減額 (△は増加)	△14,435	△12,288
仕入債務の増減額 (△は減少)	186,272	220,549
未払消費税等の増減額 (△は減少)	△30,238	21,779
その他の流動負債の増減額 (△は減少)	229,100	246,189
その他の固定負債の増減額 (△は減少)	1,296	2,720
その他	8,371	378
小計	681,287	602,458
利息及び配当金の受取額	214	287
利息の支払額	△10,608	△9,117
法人税等の支払額	△67,448	△88,245
営業活動によるキャッシュ・フロー	603,444	505,382
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△161,551	△579,254
有形固定資産の売却による収入	-	92
無形固定資産の取得による支出	-	△850
投資有価証券の売却による収入	2,728	-
貸付けによる支出	△1,050	-
貸付金の回収による収入	682	642
差入保証金の差入による支出	△11,964	△20,573
差入保証金の回収による収入	4,613	2,541
その他	△21,495	△1,145
投資活動によるキャッシュ・フロー	△188,035	△598,546
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入れによる収入	-	30,000
長期借入れによる収入	50,000	734,000
長期借入金の返済による支出	△189,668	△176,100
ファイナンス・リース債務の返済による支出	△25,175	△32,891
配当金の支払額	△18,148	△30,032
財務活動によるキャッシュ・フロー	△182,991	524,975
現金及び現金同等物に係る換算差額	7,112	△7,278
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	239,530	424,533
現金及び現金同等物の期首残高	769,979	619,569
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,009,509	1,044,103

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自平成25年3月1日 至平成25年8月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	公共施設 開発事業	商業店舗 開発事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	1,968,479	2,707,144	4,675,624	-	4,675,624
セグメント間の内部売上高又は 振替高	-	-	-	-	-
計	1,968,479	2,707,144	4,675,624	-	4,675,624
セグメント利益又は損失(△)	204,944	437,586	642,531	△282,285	360,246

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額△282,285千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

当第2四半期連結累計期間において「公共施設開発事業」セグメントでは、閉店が予定されている店舗について、13,081千円の減損損失を計上しております。

II 当第2四半期連結累計期間(自平成26年3月1日 至平成26年8月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	公共施設 開発事業	商業店舗 開発事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	1,910,039	3,712,803	5,622,842	-	5,622,842
セグメント間の内部売上高又は 振替高	-	-	-	-	-
計	1,910,039	3,712,803	5,622,842	-	5,622,842
セグメント利益又は損失(△)	292,555	440,945	733,501	△332,173	401,328

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額△332,173千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

当第2四半期連結累計期間において「商業店舗開発事業」セグメントでは、閉店が予定されている店舗について、7,861千円の減損損失を計上しております。